

の宮っ子

発行
一宮市児童育成連絡協議会
事務局
一宮市社会福祉センター
思いやり会館内・2階
一宮市桜1丁目12番1号
TEL 0586-73-0356
FAX 0586-64-5957

平成28年3月29日

ホームページ「一の宮っ子」<http://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>



あそびの発表

新年子ども会大会

本番の時は、会場にたくさん人がいたのですごくぎんちょう

ぼく達一色子ども会は、四つの町が集まつて出来たとても人数の多い子ども会です。今回、新年子ども会大会で遊びの発表をする事になり、話し合つてたくさんの人数で遊べる遊びに決めました。ぼく達は「四人でボールとり競走」という遊びを発表し

ようと思いました。スター^トの笛が鳴つたら、ステージの上だつたけれど遊びに夢中になつてしまひました。他のチームも、みんな笑顔で楽し^ム。そうにやつて、いました。

市民会館で発表する事はなかなか出来ない事なので、とても良い思い出になりました。

大志連区仲良し子ども会
六年 櫻井 華蓮

私は、新年子ども会大会に参加して、貴重な体験ができましたと 思います。それは、市民会館のような大きな舞台に立つたり、たくさん人の前で話したりすることは、めったにない事だと思うからです。私たち仲良し子ども会は、今回、大志一丁目子ども会と 合同で遊びの発表をしました。六年生が集まって、どのような遊びを紹介するのかを考え、説明の仕方や役割を決めて練習をしました。みんなと協力しながらやる事が、とても楽しいと思いました。

パンイレブンジャンケン」の二つの遊びは、その遊びを知らない子でも、すぐ一緒にできて、道具もいらないから、どこででもできるものです。本番、舞台上に立つて、人の多さに驚きました。発表をする中で、会場の人たちが、一緒に楽ししそうにやつてくれたことがうれしかったです。そして、自分自身も楽しみながらきたのがよかったです。

これからも、今回の発表を通して学んだこと、感じたことを大切にし、生かしていくべきだと思います。

皆さんにたずねてみたり。すると会場の皆さんの顔が、笑顔に変わつていました。その笑顔を見て私は、「子ども会のみんなとこの大会に参加できて良かった。」とうれしく思いました。

今回、このような良い思い出ができたのは会場の皆さん、私をこの大会にさそつて下さった役員の方、そしていつしょに舞台で発表したみんなのおかげだと思います。小学校生活最後の子ども会の大イベントを楽しんでくれて、本当にありがとうございました。

西成連区 赤見校下混合チーム
六年 宮田 美来

A child stands next to a large cardboard cutout of the character Totoro from the Studio Ghibli film "My Neighbor Totoro". The cutout is a light blue-grey color and has a friendly, rounded shape with large ears. The child is wearing a dark long-sleeved shirt and dark pants. In the background, there are other children and some cardboard boxes, suggesting a school or community event.

▲みんなが笑顔になる
ゲームで遊んだよ

A photograph showing four children standing in a row on a polished wooden floor. They are all facing towards the right side of the frame. The child on the far left is wearing a light blue long-sleeved shirt and dark pants. The second child from the left is wearing a black and white horizontally striped long-sleeved shirt and dark pants. The third child is wearing a patterned jacket over a light-colored shirt and dark pants. The child on the far right is wearing a dark blue long-sleeved shirt and light-colored shorts. The background consists of a plain yellow wall.

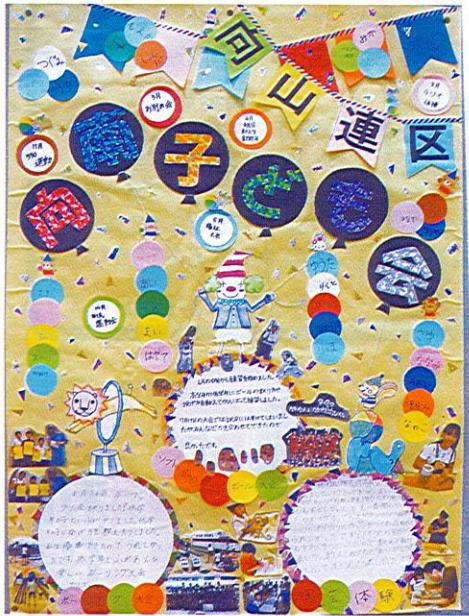
▲ うまく発表できたよ！

れをくり返してパズルを完成させその速さを競うゲームです。一見どこにでもありそうなゲームですが、今回私達はなゲームですが、今回私達は会場にいらっしゃる皆さんと一緒に楽しめる参加型のゲームにしてみました。例えばおもしろいコメントを言つてみたり、パズルの絵はどんなキャラクターの絵なのか会場の皆さんにたずねてみたり…。すると会場の皆さんのが、笑顔に変わっていました。その笑顔を見て私は、「子ども会のみんなとこの大会に参加できて良かった。」とうれしく思いました。

がべ新聞 優秀賞

向山連区 向南子ども会

六年 中島 彩有



私たち向南子ども会は、全員で二十二名です。その中の六年生三名が中心となって壁新聞を作成しました。今回の壁新聞のテーマは「ぱりぱりサーカス!!」理由は個性的なメンバーがそろった向南子ども会にピッタリだと思つたからです。今回の新聞の内容は大きくわけて三つあります。一つ目はボーリング大会、二つ目はドッジソフトボール大会、そして三つ目は陶芸体験です。この中で、私が担当したのは、陶芸体験です。陶芸体験では、私たち六年生が一年生などの低学年に教えてあげながらマグカップを作りました。使いやすく、かわいく…と思うと楽しくなってたくさんアイディアがうかんできました。

こんなたくさん行事のなかで私はどの行事もみんな楽しめて、みんな笑顔になつてみんなになれたと思っていました。そしてみんなの気持ちがつになつた壁新聞をつくることができて、とっても嬉しかったです！

六年間子ども会をやつてきた中で今年がいちばん意欲的に参加できたと思います。あと四ヶ月しかありませんが、最後の最後まで、六年生としてやり切りたいと思います！

北方町連区 大空子ども会

六年 前島 えこ

私達、大空子ども会は六年生の女子が中心になつてがべ新聞を作りました。大きく分けて四つのイベントを二人ずつ分担して作ろうという事になりました。

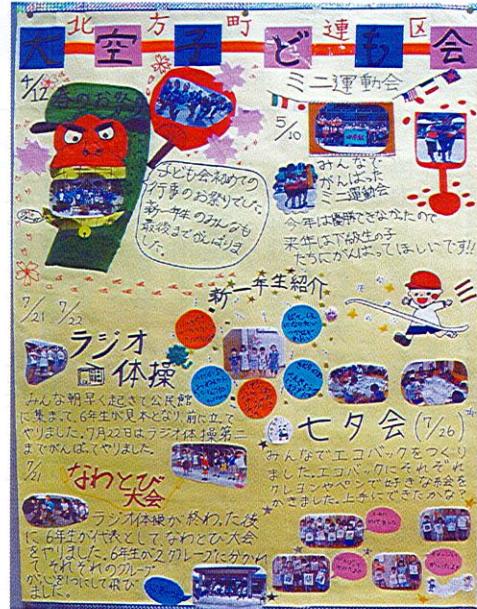
まずは春のお祭り。大きくおしの絵を書いて、インパクトもあり、写真を口の中に入れて、お祭りらしいふんいきを作つてみました。

次はミニ運動会。文字よりも写真や絵を多く使つて、運動会の白熱した様子を表しました。万国旗を書くことで、より運動会らしく表現できたと思います。

ラジオ体操となわとび大会では写真を切つてはり、みんなの様子を見てもらいました。七夕会は班ごとに自分の作ったエコバッグを持って写真をとりました。一言コメントもそえました。

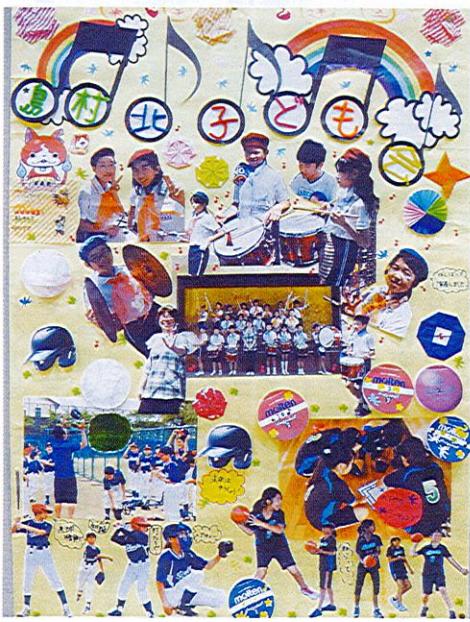
新一年生紹介のわくも作り、一年生の子一人一人に将来の夢を書いてもらいました。

一生懸命作つた、がべ新聞が優しゆう賞に選ばれて、とてもうれしいです。ありがとうございました。



葉栗連区 島村北子ども会

六年 岩田 楽々



私達は、島村北子ども会の色々ある行事の中でも、二つのテーマを壁新聞にのせることにしました。

一つ目は、子どもの日のお祭りのパレードで、樂器をえんそくして歩く鼓笛隊のイベントです。そして二つ目は、夏休み直前に行われるスポーツ大会です。

どちらの行事も他とは違つて、子ども会の仲間と一緒に協力し合い、当までの練習期間が長いところが共通している、とても大きな行事です。

育成会の会長さんの話をヒントに役員の方達がアイデアを出してくれました。

役員の方が、六年生一人ずつの写真をとつていてくれたので、演奏している姿や動きのある姿を貼りました。そして、メンバー一人一人がコメントを、ボールやヘルメットの切りぬきをめくつたところに書きました。それをふき出しみたいにその選手の近くに置いたり工夫をしてみました。鼓笛の曲紹介や、妖怪ウォッチの曲に合わせてジバニヤンの絵を付けたり、子ども会名をモールでカラフルに作つたり明るい雰囲気にしました。島村北らしい楽しい感じの壁新聞ができたのでいい思い出になりました。

大志連区 エムズ子ども会

六年 杉本



私達、エムズ子ども会は、六年生が多くいるので六年生の多くと、役員さんの手伝いを得て四月から八月までの行事について作成しました。

絵を担当するグループ、字を担当するグループと二つのグループに分かれ作業をしました。絵を担当したグループは八月に子ども会で見た映画のキャラクターの絵を上手にかいて、字を担当したグループは、行事のことについて自分で文を考え絵に書いて、自分のやることができたら、他のことを手伝つたりと楽しく協力してできました。

私は文担当で、六月に行われた球技大会のことを書きました。球技大会は学校の屋内運動場で一、二年、三、四年、五、六年と学年ごとに分かれ子ども会に関係なく青、赤、黄、緑の四チームに分かれ学年ごとで優勝チームを決めます。

みんな優勝したいとがんばるので負けた時はくやしいですが、他の子ども会の子ともチームになることで友達との仲も深まり楽しいです。

最後になりましたが、かべ新聞を作成して今までやつてきた行事を振り返りいろいろな楽しかったことを思いだせてよかつたです。

大和町連区 妙興寺北子ども会
六年 岡崎 万桜



低学年の子たちには、折り紙を折つてもらつたり、似顔絵を描いてもらつたりしました。貼りきれないとたくさん作ってくれてうれしかったです。私は全体のレイアウトを考えました。難しかつたのは、「大和町連区妙興寺北子ども会」の題字です。バランス良く書くのが大変でした。私が題字のふちどりをした後、みんなでちぎり絵のようにうめしていくのが楽しかったです。写真を選ぶ時は、つい思い出話に花が咲いてしまい、なかなか進みませんでした。

いろいろ大変な事もありましたが、上手にできて良かったです。完成した壁新聞を見て、役員のお母さんたちも頑張ったねとほめて下さいました。みんなで作った壁新聞が入賞てきて本当にうれしいです。

A group of children are gathered around a table, intently focused on their drawings. One child in the foreground is holding a crayon, while others are looking down at their work. A box of crayons sits on the table, and various drawings are scattered across the surface.

▲ プラ板工作が大人気

ぼくは、十月十八日に福祉とボランティア展に行きました。いろいろな工作ができると聞き、楽しみにしていました。ぼくが会場に行つた時はたくさん的人が工作をしていました。中でもプラ板作りが人気でした。ぼくもやつてみました。デイズニーや妖怪ウォッチなどのイラストをプラ板に写して作りました。はがきぐらいの大きさのプラ板が、オーブンで一スターの熱でちぢんでいく様子を見ていておもしろかったです。他にも傘袋ロケットなども体験しました。スーパーなどに置いてある傘を入れるビニール袋にマジックなどで絵を描いて空気を入れて、飛ばして遊びました。ロケットのさきにペットボトルのキャップを付けたり中に折り紙を入れたりしました。ロケットに紙テープを少し巻きつけるだけでも、よく飛ぶところが不思議でおもしろいなと思いました。ロケット作りのコーナーでは高校生のお兄さんが上手に絵を描いてくれました。とても楽しかったです。壁には、いろいろな子ども会の壁新聞がはってありました。みんな折り紙をはつたり、

福祉とボランティア活動展

木曽川連区 西小路子ども会
五年 伊永 光佑

子ども会指導者代表研修会

北方町連区 下出子ども会

指導者 深堀 明美

先日、尾西生涯学習センターで指導者代表研修会が行われ参加させて頂きました。

人一人発表し意見交換しました。何回も役員が回つてくるという少人数ならではの問題や、役員と保護者の子ども会活動への理解の温度差があるなどいろいろな話しが出来ました。そして、10人も満たない少人数の子ども会から100人を越える子ども会まである中子どもの減少に伴い会員数が減っているのが現状で、子ども会の存続の問題は大きな課題となりました。それぞれ問題を抱え活動されました、「子ども達の楽しきな笑顔を見れて良かった。」と笑顔が多く、私自身も子ども達の笑顔で救われる事もありがんばる事が出来ました。この一年を振り返ってみると、いろいろ大変でしたが私にとって大きな財産となり良い経験になりました。

今後も子ども会活動が持続し、そして発展していくことを願います。



▲ 自分から楽しむ心で活動

2月6日に開催された、指導者代表研修会に参加させて頂きました。1年を振り返り指導者として感じた事を述べ意見交換する会でした。一人一人意見を述べていった中で半数以上の指導者から、子ども会への入会減少があげられていきました。入会していくも習い事などで行事に参加できない子も増えていた事から、解決策として、例年通りではなく新しい行事を取り入れる、子どもの意見にもつと耳を傾ける、ジュニアリーダー行事を盛り上げてもらうなどとも参考になる話を聞く事ができました。他にも役員選出の悩み、予算の問題、球技大会における人員不足な

「楽しく参加できる子ども会活動を考えよう」と東海北陸地区6県1市子連の子ども会指導者・育成者約200名の参加で開催され、一宮市からは3名が参加しました。1目の一次世代を託す青少年の

専門副委員長
佐合 亮子

東海北陸大会報告

子どもを中心とした活動をこれからも続けて行ってほしい。そのためにも、お父さん達の活躍も期待したい。

資源回収ボックスが増えたため資源収入が減った。子どもの人数が減つて出来ることが減った。

予算をかけないで楽しめた

分科会まとめ

ど、各単子でかかえている諸問題について話し合いまして。来年度も指導者の任を預かるものとして、「子どものための子ども会」がより良い会になる様努めていきたいと 思います。

○一宮市子ども会指導者研修会
4月23日（土）一宮市民会館
○子ども交流会
6月4日（土）木曽川体育館



▲ 時代に即した活動の工夫を

錬成について」海王丸船長齋藤重信氏の講演は、楽しみながら学ぶ興味深い内容でした。2日目は、前日の事例発表を振り返り分科会が行われました。私が参加した第1分科会は、「時代に即した活動（の工夫）を考えよう」をテーマに少子化、リーダー・育成者の減少、財政難の中で行事のあり方を工夫し、指導者のレベルUP、楽しく行動すること、実践経験の必要性等の意見交換が行われました。どの地域もいろいろな課題を抱えながらこれから子ども会活動についてしつかりと見据え、取り組んでいることを実感した分科会でした。また、地域に根差した今後の活動に生かすべく学ぶことができた2日間でもありました。

色々な活動を通して、子ども達の原稿をお寄せいただき、ありがとうございました。
長谷川幸子

千秋町連区	小山子ども会
県社協会長表彰	西香光寺子ども会
今伊勢町連区	木曽川町連区
木曽川町連区	八幡子ども会
県子連会長表彰	貴船連区
貴船連区	スペクトル一宮
西成連区	貴船子ども会
三条連区	春明子ども会
新開いぶき子ども会	新開いぶき子ども会

表彰
屋市公会堂で表彰式
が行つました。